

協同の「絆」で東日本大震災被災地支援活動を展開

◆ 東北3県 J A 中央会 激励訪問

J A 愛媛中央会の林正照会長と南條哲朗総務企画部長は2011年6月9日～10日、東日本大震災で甚大な被害を受けた東北3県 J A 中央会（福島県・宮城県・岩手県）を訪問し、J Aグループ愛媛の寄せ書きを手渡しました。

林正照会長は「J Aグループ愛媛の東日本大震災に寄せる復旧・復興の想いを寄せ書きしました。1日も早く生産者の皆さんが営農を再開できるよう応援しています」と激励しました。

また、訪問前には各県 J A 中央会に美生柑10c/s、えひめみかんジュース(缶30本入り)20c/sを送りました。



J A 福島県中央会訪問（6月9日）



J A 宮城県中央会訪問（6月9日）



J A 岩手県中央会訪問（6月10日）

（写真提供：日本農業新聞）

◆ えひめ愛顔助け合い基金へ総額685万円贈呈



J Aグループ愛媛は2011年6月29日、中村時広愛媛県知事に東日本大震災の義援金205万円を送りました。J Aグループ愛媛では、同日までにも各 J A から基金に寄付しており、総額で685万円を寄付しました。

「えひめ愛顔助け合い基金」は、愛媛県が同年4月、東日本大震災で被災した地域に対して、県民や企業・団体から寄付金を募って長期的な支援活動に取り組むため設立されました。具体的には、被災地域の児童を受け入れやボランティア派遣、みかんジュースなどの物的支援など幅広い事業で活用されます。中村県知事は「J Aは被災地ともつながりがある。ぜひ県と連携して支援事業を続けてもらいたい」と話しました。